

東京工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語総合Ⅳ			
科目基礎情報									
科目番号	0045			科目区分	一般 / 必修				
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	物質工学科			対象学年	2				
開設期	後期			週時間数	2				
教科書/教材	『国語総合 古典編』（東京書籍）、配布プリント、樺島忠夫ほか『日本語チェック2000辞典』（京都書房）								
担当教員	渡邊 美希								
到達目標									
1.古文:主な古語の意味をふまえた上で、内容を理解し、味わうことができる。 2.漢文:句法と助字のはたらきを理解したうえで、大意を捉えることができる。									
ルーブリック									
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安				
評価項目1		古語の意味をふまえた上で、現代語にすることができる。	古語の意味をふまえた上で、ほぼ現代語にすることができる。	古語の意味をふまえた上で、内容を理解することができる。	古語の意味をふまえることができず、内容を理解することができない。				
評価項目2		句法と助字のはたらきを理解して、現代語にすることができる。	句法の意味を理解し、大意を捉えることができる。	句法の意味と助字のはたらきとをほぼ理解し、大意をおよそつかむことができる。	句法も助字のはたらきも理解できず、大意を捉えることができない。				
学科の到達目標項目との関係									
教育方法等									
概要	前年度の「国語総合Ⅱ」を承けて、更に難易度の高い古典文学作品（古文・漢文）の読解と鑑賞とおこなう。古代人の自然観や人生観、さらには論理的な思考法に触れ、近代以降の諸文化を絶対的なものとして捉えるのではなく、対象化する視座を得てほしい。								
授業の進め方・方法	主として講義形式で進めていくが、折に触れてさまざまな課題に取り組んでもらうことになる。意欲的な参加を期待する。								
注意点	1. この授業では、授業内容の予習・復習を中心とした自学自習の習慣を身につけること。 2. 小テストは欠席すると0点となるので注意すること。事情があつて追試験を希望する場合は、その旨を試験実施日から一週間以内に申し出ること。 3. 後期中間試験において評価点が60に満たなかった者には、毎週のノートチェック等を通して学習状況把握し、助言をおこなう（必要に応じて課題に取り組んでもらう）。 4. 再試験は実施しない。								
授業の属性・履修上の区分									
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業			
授業計画									
		週	授業内容	週ごとの到達目標					
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文・「古文に見える人生観・自然観」1	・ 授業の進め方と成績評価の方法について理解する。					
		2週	古文・「古文に見える人生観・自然観」2	・ 古典文学作品に見える人生観について説明できる。					
		3週	古文・「古文に見える人生観・自然観」3	・ 古典文学作品に見える人生観について説明できる。					
		4週	古文・「古文に見える人生観・自然観」4	・ 古典文学に見える自然観について説明できる。					
		5週	古文・「古文に見える人生観・自然観」5	・ 古典文学作品に見える自然観と人生観について、現代との共通点を説明できる。					
		6週	後期中間までのまとめ	・ ここまでの学習をふりかえり、理解が十分でない箇所を見いだして復習する。					
		7週	後期中間試験	・ ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。					
		8週	後期中間試験 返却・解説	・ 後期中間試験の結果を承け、学年末試験に向けての目標を確立する。					
	4thQ	9週	漢文訓読の復習1	・ 送りがな、返り点を的確に施すことができる。					
		10週	漢文訓読の復習2	・ 再読文字について、書き下し文と現代語訳とを作成できる。					
		11週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」1	・ 論理的かつ説得的な文章が有する論の組み立て方を理解する。					
		12週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」2	・ 論理的な文章の、思想的背景について理解する。					
		13週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」3	・ 論理的な文章の、思想的背景について理解する。					
		14週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」4	・ 文章で取りあげられる事柄について、現代の視点からたとえ話をを用いて説明することができる。					
		15週	学年末試験	・ ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。					
		16週	学年末試験 返却・解説	・ 学年末試験の結果を承け、理解が不十分であった箇所を整理し、今後の国語学習に備える。					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合									
	試験	発表	相互評価	態度・取り組み	ポートフォリオ	小テスト	合計		
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100		

基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0